

けせんぬま 女性会報告

ありがとう*プロジェクト

2021. 4. 24 (SAT)
会議所にてマリーゴールドの植栽作業

2021. 4. 27 (THU)
気仙沼市医師会にてマリーゴールド贈呈



昨今、全国的に猛威を奮う新型コロナウイルスは、当地域においても感染者が増加傾向にあります。

私たちは「コロナ禍であっても、あかるく・前向きに！私たちに出来ること」をテーマに、これまで話し合いを重ねてきました。

ありがとう*プロジェクトは、これまで私たちが日々健康で過ごしているのは、最先端で奮闘している医療従事者の皆様の努力の賜物であり、ぜひこの感謝の想いを伝えたい！と地域貢献事業のひとつとして取り組みました。

マリーゴールドには、花色によってそれぞれ花言葉があります。黄色いマリーゴールドの花言葉は『健康』。

まさにこのプロジェクトに相応しく、この感染症が一日も早い終息を迎えますようにと選定されました。

4月24日（土）会議所駐車場にて、ソーシャルディスタンスなど感染予防対策をしっかりと行い、植栽作業を行いました。

昨年度の事業は活動が限られたこともあり、参加者からは「久しぶりだね～」など再会を喜ぶ声も聞かれました。

作業は、医療従事者の皆様の日常が一日でも早く戻りますようにと、感謝の気持ちをこめながら、140株のマリーゴールドを35鉢のプランターへ植えました。

4月27日（火）正副会長4名が気仙沼市医師会を訪問し、市内医療機関と看護専門学校へプランターを贈呈しました。

当日は、ご多忙の中にもかかわらず、気仙沼市医師会の森田会長をはじめ4名の先生がご出席くださいました。

気仙沼市医師会の森田会長は「女性会の皆様から頂戴したこの花々をこころの励みに、これからも日々地域のために頑張っていきたい」とお言葉をいただきました。

